

次の文章は、正確に意味をつかめないなど、間違っている箇所があります。論理的な正しい文章に書き直してください。

日本では、胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎などの酸関連疾患のうち胃潰瘍が多く、十二指腸潰瘍や逆流性食道炎が多い欧米とは異なる疫学的傾向があった。しかしながら、日本人の生活習慣の欧米化や高齢化等により逆流性食道炎が近年増加している一方で、*H. pylori* の感染率の低下により減少に転じており、今後、酸関連疾患の主体は欧米と同様に胃潰瘍から逆流性食道炎に変化していくと予想される。

受講者の解答

胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎などの酸関連疾患のうち日本では胃潰瘍が多く、欧米では十二指腸潰瘍や逆流性食道炎が多い疫学的傾向があった。しかしながら、日本人の生活習慣の欧米化や高齢化等により逆流性食道炎が近年増加している。一方で、胃潰瘍は *H. pylori* の感染率の低下により減少に転じている。今後、日本人の酸関連疾患の主体は欧米と同様に胃潰瘍から逆流性食道炎に変化していくと予想される。

⇒「傾向があった」という過去表現は適切でしょうか。文章の最後をみると「今後...胃潰瘍から逆流性食道炎に変化していくだろう」ということですから、この文章を作成した時点では「傾向がある」といった現在表現のほうが適切です。

⇒「しかしながら」は間違いではありませんが、簡潔に書くことを考慮すれば「しかし」のほうが良いでしょう。

⇒「生活習慣の」が「高齢化」も修飾すると考えることはないのですが、修飾語がかからない言葉は前に出して「高齢化や生活習慣の欧米化」とする習慣をつけておくほうが良いでしょう。

⇒「*H. pylori*」は学名で外来語ですから「*H. pylori*」のようにイタリック体で表記するのが原則です。

⇒「転じている」は論理的でしょうか。「減少に転じている」というのは「増加していたものが減少し始めた」という意味ですが「胃潰瘍が増加していた」という情報はどこにも記載してありません。よって、ここで「転じる」という表現を用いるのは論理性に欠けますから「胃潰瘍が減少している」という記述のほうが適切です。

⇒「欧米と同様に」の文中の位置は正確ですか。欧米も過去に「胃潰瘍から逆流性食道炎に

変化していった」という経緯があれば良いのですが、そのような記載はないので、この位置では誤解を招きます。したがって、たとえば「胃潰瘍から」を削除し「酸関連疾患の主体は欧米と同様に逆流性食道炎になる」といった記述が論理的です。

⇒「予想される」の「される」は「れる、られる」と同様に、受け身、可能、敬意を意味する表現ですから、文意をあいまいにします。メディカルライティングでは、そのような複数の解釈が可能な表現は用いないのが原則です。また、日本語でこのような文を書く場合、真の主語は「我々」か「私」であることが多く、しかし、その主語は記載しないというのが一般的です。そして、この文章の内容から考えて「予想している」のは「我々」ですから、ここは「予想する」という表現にするほうが簡潔で明快です。さらに「予想」は「思惑」と同義ですから、データに基づく考えを述べる場合は「予測」や「推測」のほうが適切です。

なお「十二指腸潰瘍」もピロリ除菌で減少する可能性があることを考慮するほうが良いでしょう。そのことを含め、他にも文章全体の論理性を高めるために記述を工夫するほうが良いポイントがあります。以下に参考解答例を記します。

酸関連疾患には胃潰瘍、十二指腸潰瘍、逆流性食道炎などがある。これらのうち、日本では胃潰瘍が多く、欧米では十二指腸潰瘍や逆流性食道炎が多いといった疫学的な違いがある。しかし近年、胃潰瘍および十二指腸潰瘍は *H. pylori* 除菌治療の効果により減少しつつある。一方、日本では高齢化や生活習慣の欧米化などにより逆流性食道炎が増加する傾向にある。したがって今後は、日本も欧米も酸関連疾患の主体は逆流性食道炎になると推測する。